

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	人間コミュニケーション学基礎論第一		
英文授業科目名	Fundamentals of Human Communication 1		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-基礎科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	兼子 正勝		
居室	西6-409		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kaneko@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
人間コミュニケーション学を構成する諸分野を紹介するとともに、それら諸分野のあいだのコラボレーションによってどのような知が形成されるか、どのような研究が可能になるかを、講義とディスカッションを通して浮かび上がらせる。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
なし

【授業内容とその進め方】
前半5回、後半5回の授業をそれぞれ3人の教官が担当し、前半・後半それぞれに個別テーマを設定して、講義とディスカッションをおこなう。
1. イントロダクション
2. 前半
(1) 総論（前半担当教員全員）
(2) トピックス1
(3) トピックス2
(4) トピックス3

電気通信大学 平成20年度シラバス

- (5) ディスカッション(前半担当教員全員)
- 3. 後半
- (1) 総論(後半担当教員全員)
- (2) トピックス1
- (3) トピックス2
- (4) トピックス3
- (5) ディスカッション(後半担当教員全員)
- 4. まとめ

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義・ディスカッション等に参加し、前半後半それぞれのテーマにしたがってレポートを提出することを最低限の義務とする。

レポートにおいては、以下の点をチェックする。

- 1) テーマと、各教員の講義を理解しているか
 - 2) テーマに対して、自分自身の問題を設定できているか
 - 3) 自分自身の問題について、論理的に説明できているか
 - 4) 上記すべてについて、どれだけ魅力的ないし説得的に論述できているか
- 1-3) が期待される達成目標であり、これに4)を加味して評点をつける。

【オフィスアワー：授業相談】

世話人兼子にメールで連絡すること。

【学生へのメッセージ】

人間コミュニケーション学専攻は、既存の学問分野からすると多様な領域を包含しています。逆に言うと、その多様な領域をうまく架け橋し、相互作用によってあたらしい領域を浮かびあがらせることが重要です。この授業はそうした方向性を学生諸君に把握してもらうための重要な授業です。学生諸君は、あたらしい学問分野の形成に参加するのだという強い意欲を持って臨んでください。

【その他】

なし